

2020年12月2日

三田市長 森 哲男 様

気候危機・自治体議員の会兵庫

気候非常事態宣言等を求める申し入れ書

常日頃は、市民生活の向上のためにご尽力いただきありがとうございます。

私たちは、地球温暖化防止対策を全力で推進するためにつくった気候危機・自治体議員の会のメンバーです。2020年11月10日現在、全国で445人の自治体議員が賛同しています。

さて、近年、地球温暖化が影響して世界的に異常気象が頻発しています。日本においても、巨大台風や集中豪雨などの被害が増え、ドイツのジャーマンウォッチによると、2018年の気候変動による影響を最も受けた国は日本だと発表がされました。2位はフィリピンで巨大台風による被害。3位はドイツで熱波による死亡や干ばつによる凶作で大きな損失が発生しました。

世界全体で気候変動の危機に対応する必要がありますが、パリ協定では、地球の平均気温上昇を2℃より低く抑え、1.5℃に抑制することが必要だとしました。そのために、2050年のCO2排出量を実質ゼロにし、2030年の排出量を2010年より50%削減することが必要です。

そのような状況を踏まえ、菅首相は10月26日の所信表明演説で、2050年にCO2排出実質ゼロを目指すことを表明しました。井戸知事も、9月29日の県議会一般質問の答弁で、2050年にCO2排出実質ゼロを目指し、環境審議会で検討することを明らかにしました。

そこで、貴自治体においても、以下の取り組みを行うよう要請致します。

- ・気候非常事態宣言を発し、市民、事業所等と危機感を共有すること。
- ・貴自治体のCO2削減目標を、2030年に2010年より50%減、2050年実質ゼロに設定すること。
- ・地球温暖化対策を所管する部署の人数と予算を大幅に引き上げること。
- ・リーフレットなどを参考にし、省エネ、再エネ推進等について可能な限りの取り組みを行うこと。
- ・地球温暖化対策を理解し、実践をするため、学校において具体的な行動に繋がる環境教育を実施すること。

以上

気候危機・自治体議員の会兵庫

代表呼びかけ人

丸尾牧（兵庫県議）、丸谷聡子（明石市議）、山崎憲一（尼崎市議）、井奥雅樹（高砂市議・世話人）

参考：リーフレットは気候危機・自治体議員の会 HP からダウンロードすることが出来ます。

連絡先

丸尾 牧 〒661-0024 兵庫県尼崎市三反田町 [REDACTED] [REDACTED]